



いざ出陣！



長篠の合戦



あまた存在する戦国の合戦の中で
この戦いが著名なのは・・・

信長が革命的な戦術
「鉄砲の三段撃ち」を
編み出し大勝利。
鉄砲の時代を開く。

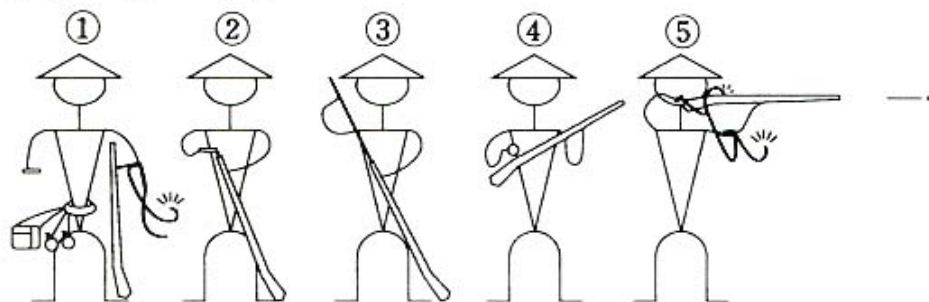
弓矢から鉄砲の時代への転換点



火繩銃

▼ 火縄銃操作手順の図

- ① 胴乱、玉袋、口薬入れなどを身体の右側に付ける。左腕には両端に点火した火縄を通す。
- ② 胴乱から早合（一発分の火薬、あるいは火薬と玉をセットした筒）を出し、中の火薬を銃口から入れる。ついで玉を銃口から入れる。
- ③ かるか（さくじょう 棚 杖）を銃口から差し込み、火薬をつき固める。
- ④ 火蓋を開け、口薬を火皿に盛り、火蓋を閉める。
- ⑤ 火挟みを起こし、これに火縄の一端を挟み、狙いをつけ再び火蓋を開け（火蓋を切るといふ）、引き金を引く。火挟みが落ち、火縄の火が火皿の口薬に点火、その火が銃身内の火薬に移って爆発し、玉を飛ばす。火蓋を閉めて以上の操作を繰り返す。

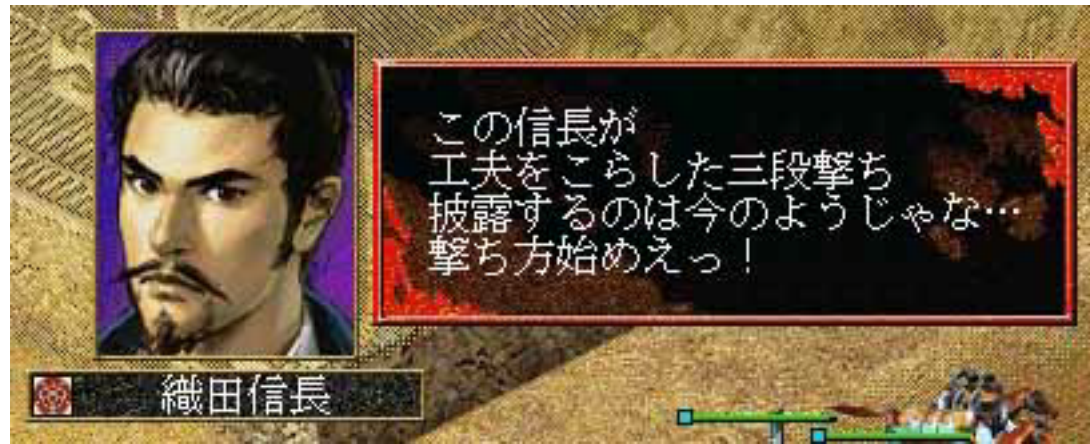


基本動作20秒
撃ち続けると
さらに間隔が空く

にわかに湧き起こる疑問

操作複雑

➡ 技能に個人差大きいだろう



1000人規模での3交替一斉射撃

果たして可能か？ 可能だとしても最もノロマな兵に合わせるのが合理的だと言いうるか？

それに・・・

全戦線にまんべんなく敵が来るか？
一点突破を狙ってくるのでは？

その前に課題確認！

謎を解きに

史料へと分け入ってみる・・・

基本史料『信長記』の記述

御奉行として近々と足輕懸けられ御覽候。前後より攻められ、御敵も人数を出し候。一番、山県三郎兵衛、^{ニニツシ}推太鼓を打つて懸り来り候。鉄炮を以て散々に打立てられ引退。二番に^{ニニ}正用軒、入替、かゝればのき、退ば^{のけ}引付、御下知のごとく鉄炮にて過半人数うたれては其時引入るなり。三番に西上野小幡一党、^{あかむ}赤武者にて入替り懸り来る。関東衆馬上の功者にて、是又馬入るべき行にて、^{タメテ}推太鼓を打つて懸り来る。人数を備へ候身がくしをして、鉄炮にて待請けうたせられ候へば、過半打倒され無人になつて引退く。四番に典厩一党黒武者

にて懸り来り候。かくのごとく、御敵入替へ候へども、御人数一首も御出しなく、鉄炮ばかりを相加へ、足輕にて会釈、ねり倒され、人数をうたせ引入るなり。五番に馬場美濃守、^{フシ}推太鼓にてかゝり来り、^{ニシユ}人数を備へ、右同前に^{せいしゅ}勢衆うたれ引退く。

五月廿一日日出より、寅卯の方へ向つて未刻迄入替々々相戦ひ、諸卒をうたせ、次第々々に無人になつて、何れも武田四郎旗元へ馳集り、^{かなひがた}叶難く存知候歟、鳳来寺さして^{ドク}噓と^{ヘイジン}癡軍致す。其時前後の勢衆を乱し追はせられ、

討捕る頸、見知分、

山県三郎兵衛・西上野小幡・横田備中・川窪備後・さなだ源太左衛門・土屋宗蔵・^{あま}甘利藤蔵・杉原日向・なわ無理介・仁科・高坂又八郎・奥津・岡辺・^三竹雲・恵光寺・根津甚平・土屋備前守・和氣善兵衛・馬場美濃守、

基本史料『信長記』から分かること

1. たしかに鉄砲にて勝利している
2. しかし、「三段撃ち」の話はどこにもない



では、絵の中へ・・・

三段撃ちの証拠は見つかるか？

どこでも三段撃ちなどしていない



「三段撃ち」戦法は 江戸時代になってから創られた話

おぜほあん

仕掛け人 小瀬甫庵
『甫庵信長記』

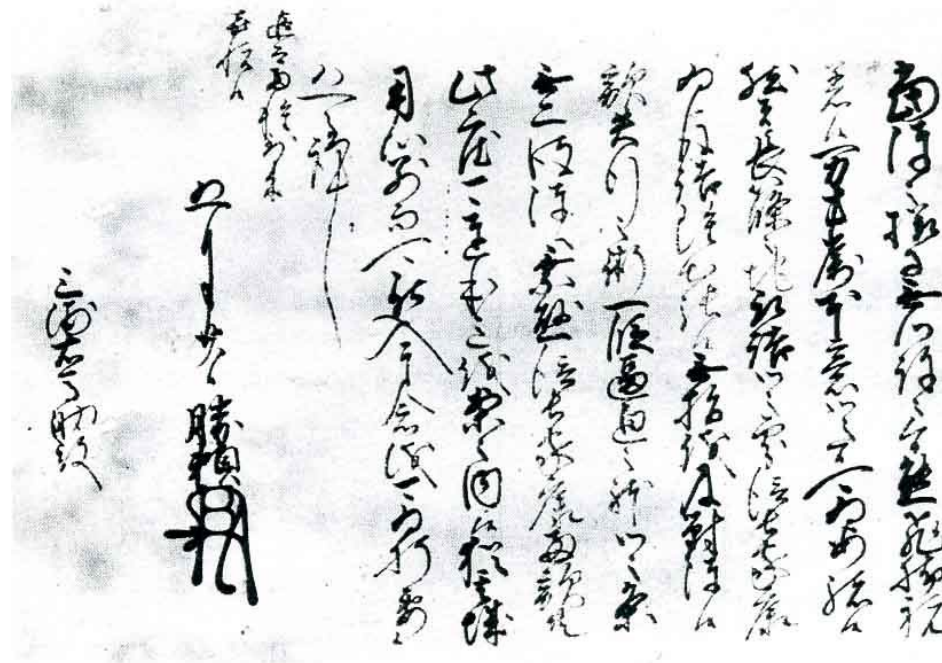


では、実際の長篠の合戦の勝因は？

1.



2.



「敵てだての術を失い、一段逼迫の体」

引きこもり中の信長・家康軍を見て、
勝頼は「敵は有効な手だてがなくて
困ってる！」と判断した

南は海を渡るに能く
 北は山を越えしむるに
 能く
 東は海を渡るに能く
 西は山を越えしむるに
 能く
 南は海を渡るに能く
 北は山を越えしむるに
 能く
 東は海を渡るに能く
 西は山を越えしむるに
 能く

では、実際の長篠の合戦の勝因は？

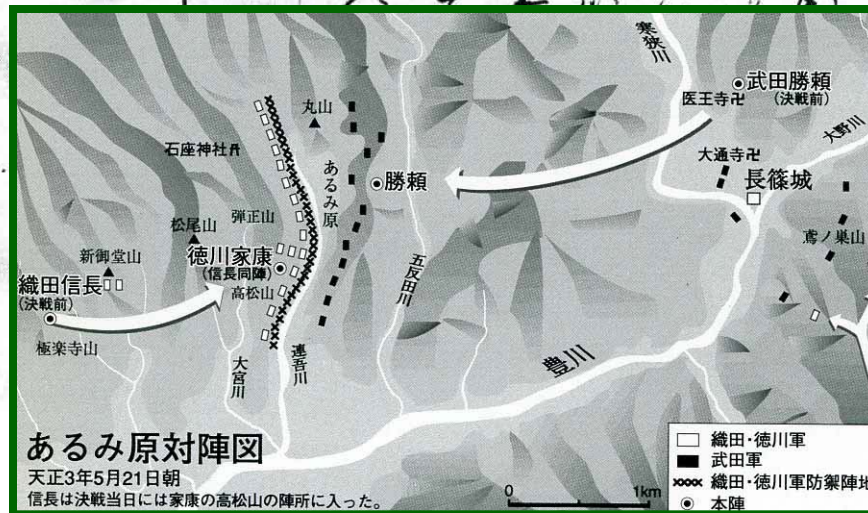
1.

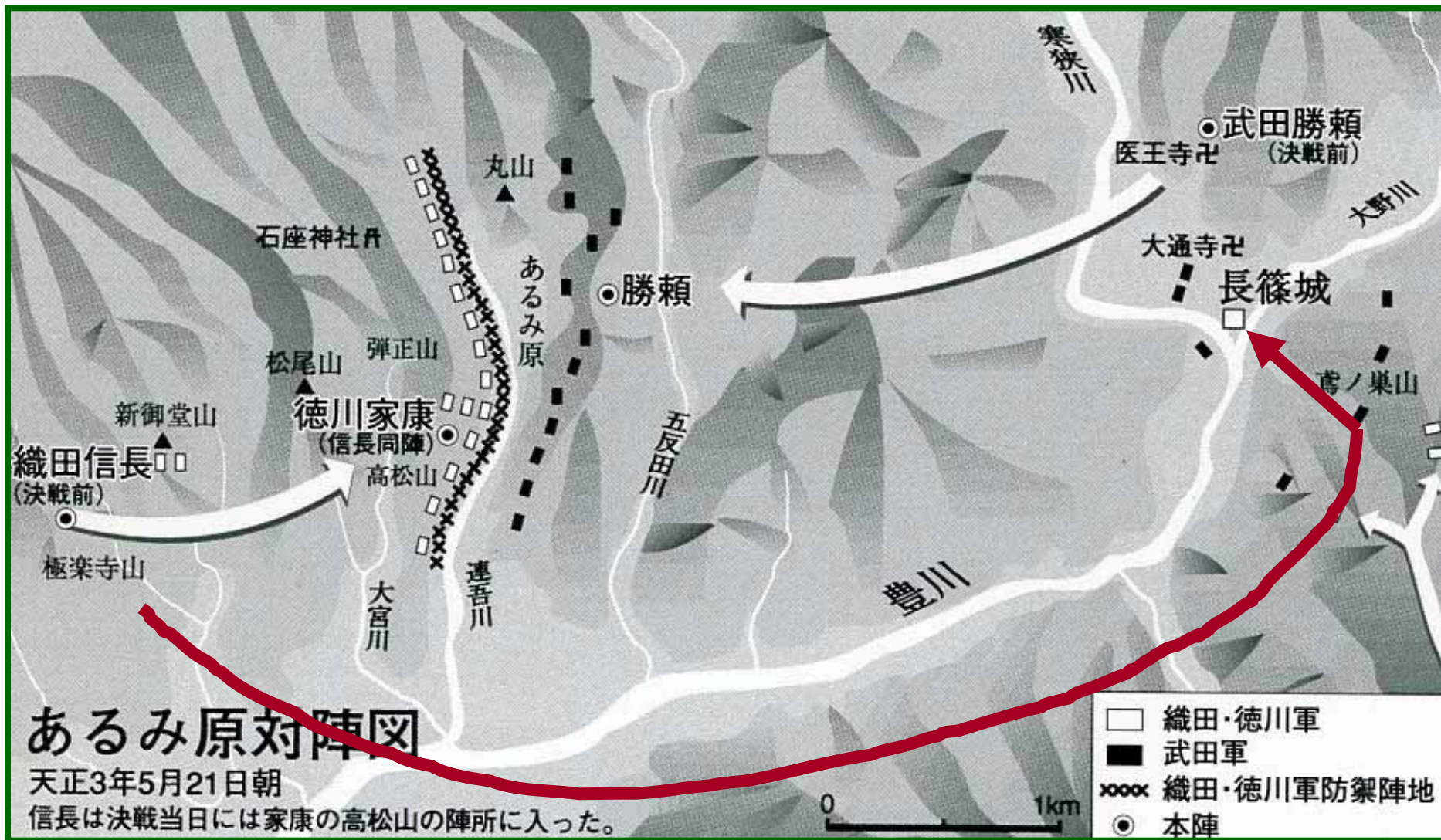


2.

勝頼の判断ミス

3.





別働隊 鉄砲500丁を擁して敵の背後へ
(坂井左衛門尉)

では、実際の長篠の合戦の勝因は？

1.



2.

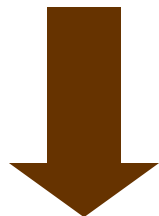
勝頼の判断ミス

3.

別働隊の活躍



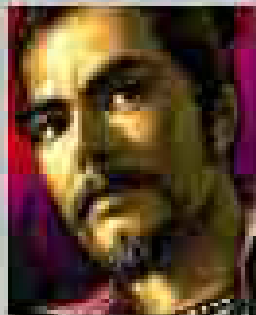
いくつかの要因による勝利



だけクローズアップ



なぜ？



織田信長

新しき時代を告げる
鉄砲の威力見せてやる
一番隊前へ、射てっ！

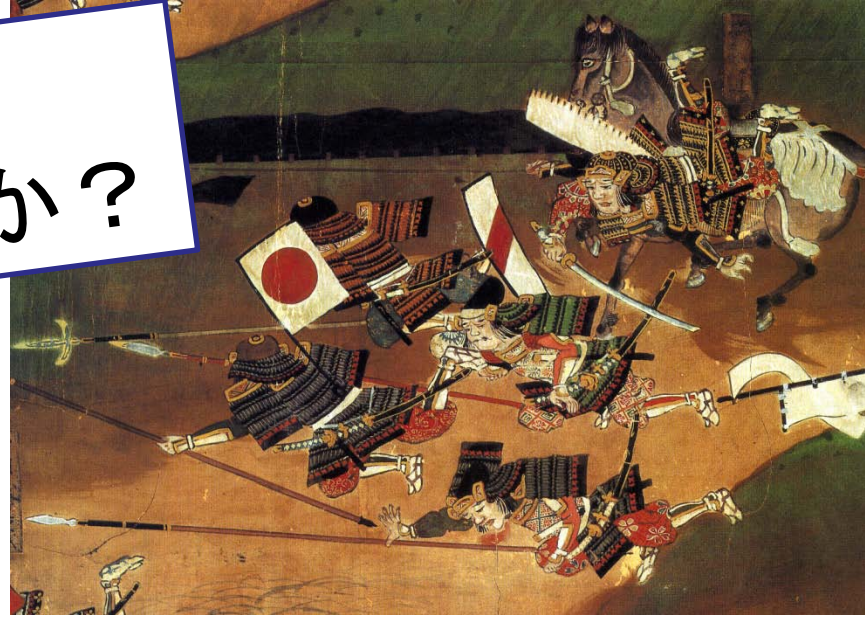
新時代の到来という
わかりやすい話だから

それにつけても武田騎馬隊の悲惨さ・・・

なぜ5番隊に至るまで、つぎつぎと突撃し続けたのか？

なぜ、彼らは
死の突撃を繰り返したのか？

問3



1. 勇気を示すため

矢玉の嵐の中をひるまず行く
これぞ男の中の男という美学

2. 統一行動をとるため

隊列を組んで一緒に行動する
これぞ生死をともにした軍隊スピリッツ

問4

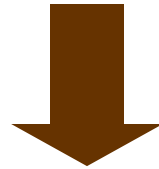
合戦の中で不思議な光景を見かけました・・・

問4

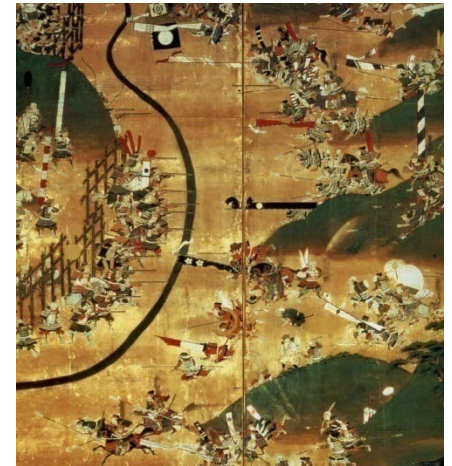
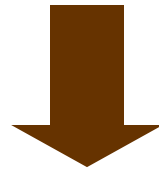


どんな状況か、自由に推測してください。

南蛮渡来の新技術＝鉄砲

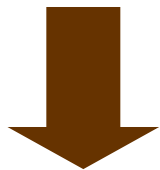


長篠での偶然の大勝利

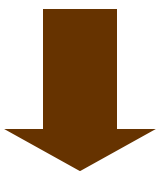


勝因としてクローズアップ

勝因としてクローズアップ



一挙に普及



戦闘が加速し
すみやかに天下統一へ



日本を変えた1日であった。

問5

焼きたいあなたへ・・・

【強気なノブさんへ ☆インタビュー☆】

わしが歴史をつくるのだ！ 見よ、天道さえも味方した!!
めっぽう強気なトーンで、長篠の合戦が終わった時点での
合戦自慢話や、今後の天下取り方針を語ってください。

問5

焼かれたいあなたへ・・・

【弱気なノブさんへ ↓インタビュー↓】

ふう、くわばらくわばら。よくもまあ勝てたものよ。

めっちゃ弱気なスタンスで、長篠の合戦が終わった時点での合戦苦労話や、今後の世渡り方針を語ってください。